

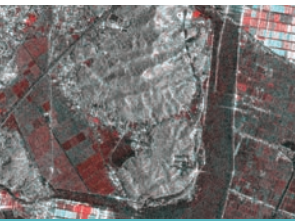
衛星 × 防災 農林 水産 環境 ...

衛星データ 解析技術研究会

入会のご案内 会費無料

「衛星データ解析技術研究会」は、防災、農林、水産、環境などの分野に応用する技術開発に向け、JAXA 西日本衛星防災利用研究センター、山口大学と連携し活動を行っています。研究会では、参加企業が連携し、衛星データ応用要素技術の事業化への課題克服に取り組んでいます。活動内容は参加企業の意向も考慮し、最先端の現場で活躍されている研究者の講演等が開催されます。ぜひご入会ください。

● 構成 / 企業 (46 社)、山口大学、関係団体、公設試、自治体等 ● 会員数 / 64 (R3.3月現在)



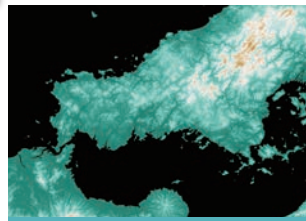
Original data provided by JAXA



研究会



GISによる森林資源情報



ASTER GDEM is a product of METI and NASA



ワーキング会議



GNSSによるアクセスルート記録



活動 1 講演会等の開催による情報提供

衛星データ応用に関する調査や情報提供をしています。

活動内容



活動 2 技術セミナーの開催

衛星データ解析技術に関する技術者を育成しています。



活動 3 ビジネスプランニング

衛星データを用いたビジネスプランの構築支援を行っています。



活動 4 実証支援

衛星データを活用した有効性検証実施の支援を行っています。



活動 5 事業化支援

衛星データ利用の事業化を支援しています。

活動実績



学生と企業技術者の協働でビジネスアイデアを創出



JAXA GCOM 田中プロマネ、ALOS 祖父江プロマネの特別講演



- 研究会: 14回
先行事例の紹介、山口大学の研究成果報告等
- 技術セミナー: 47回
解析技術等解説や衛星データを使用した実習
- ワーキング会議: 11回
衛星データ活用方策等の協議・検討
- シンポジウム等 (R3.3月現在)

成果実績

水産

内閣府 2018年度「先進的な宇宙利用モデル実証プロジェクト」
衛星データによる漁業操業ナレッジベース構築と支援サービス事業



実証事業チーム代表:株式会社エイム



資源減少や後継者不足が顕著な沿岸漁業において、衛星データ、IoT技術により操業情報の収集を行い、AI技術によって漁業操業ナレッジベースを構築して漁業支援サービスの実証を行う。

福祉

内閣府 2019年度「みちびきを利用した実証実験」
「みちびき」を利用した視覚障がい者のスポーツ介助支援システム



実証事業チーム代表:株式会社ニュージャパンナレッジ



視覚障がい者のジョギングなど介助者(伴走者)向けの支援システムの実証。コース上にある注意ポイントを事前に登録し、そのポイントに近付いた際に伝達、介助者の負担軽減と安全性が向上する。

光学衛星、SAR衛星、測位衛星、気象衛星など様々なデータと地上データを組み合わせることで、防災、農林、水産、環境など幅広い分野への利用が可能となります。

【事務局・お問い合わせ先】 地方独立行政法人 山口県産業技術センター プロジェクト推進部 宇宙データ利用センター(担当/森・藤本)
〒755-0195 山口県宇部市あすとぴあ4-1-1 TEL:0836-53-5056 FAX:0836-53-5071 E-mail:mori@iti-yamaguchi.or.jp
URL:https://www.yamaguchi-consat.org/